

件名	第2回松崎地区駅前活性化協議会
日時	2016年11月29日(火)19:00~21:00
場所	湯梨浜町役場2階会議室
出席者 (敬称略)	協議会委員:速水、谷口、高野、上治、立木、岸田、北村、遠藤、山栴、安部、河井 湯梨浜町役場みらい創造室:山根副町長、谷岡 地域おこし協力隊:新田、辺(記録)
決定事項 (合意事項)	
次回までの 調整事項	
配布資料	①平成28年度第2回松崎地区駅前活性化協議会レジュメ、②まちづくり会社について ③松崎地域の特徴について、④視察先候補地について、⑤湯梨浜町 CCRC イメージ図

1. 開会

2. 会長あいさつ

(会長)前回の協議会で、若い人の意見も聞きたいということで、新たに3名協議会委員に加わっていた。

3. 新委員紹介等

(委員)松崎4区に住んでいる。結婚してから越してきて、18年経過したが、当初は皆さんにも子育てを随分助けていただいた。倉吉で働いていたので、地域のことが分からない部分もあるが、魅力を見つけて行きたい。

(委員)前回欠席していた。17年間龍鳳閣の館長として関わっていたこともあり、観光面の切り口からまちづくりに協力できればと思っている。現在は無職だ。

(委員)合銀支店長。松江出身で、広島や島根を転々とし、松崎に来て2年が経過する。5年任期だが、精一杯ご協力したい。

(副町長)4月から湯梨浜町の副町長となり、それまでは国交省に在籍していました。副町長の任期が2年と言われておりすでに1/3が経過してしまっています。Aコープ閉店後不便している人がいたり、商店街の活性化につながればという想いから協議会が発足しました。住民中心の協議会が他地域でも継続されているので、湯梨浜町でも継続していけるシステムを作るといった視点からもご検討いただきたいと思います。

(事務局)みらい創造室に在籍しており、移住定住、泊地域の小さな拠点検討協議会を担当しています。泊と同じように協議会が発足し、進めている松崎の取り組みを見せていただきたいと思います。松崎は移住定住の取り組みが上手く行っているの、勉強させていただきたいです。

4. 議事

■まちづくり会社について

(会長)副町長より湯梨浜まちづくり会社について紹介いただく。

(副町長)※資料に沿って湯梨浜まちづくり株式会社について説明。

(会長)質問はあるか。

(委員)まちづくり会社とはどのような会社なのか。

(事務局)私は(出資者である)株式会社コミュニティネットの社員でした。この会社は高齢者向けの住まい

の企画、運営をしている。鳥取県と一緒に生涯活躍のまち構想推進に向けて動いており、我々も地域おこし協力隊として引っ越してきている。今は、まちづくりを進めていくためにまちづくり会社の一員として関わっていくが、まちづくり会社の細かい事業などは徐々にお伝えしていく。

(委員)出資予定者21名とはどのような人なのか。

(副町長)まちづくり会社への出資募集では、個人向けではなく商工会会員向けに出資募集の文書を送りました。出資説明会も行い、賛同いただいた方21名が出資してくださいました。また、地域包括ケアに関連する事業者にも出資いただいています。

■視察先について

(副町長)先行事例を視察したいというお話がありましたので、視察先候補地を選定し、資料を作成したのでご覧ください。視察ということもあり、距離等も記載しており、今回は3ヶ所選定しました。

- ・鹿野町：鳥取県内で近い地域。賑わい作り、空家活用を中心に活動。空家活用「夢こみち」や「まちなみ演出」、お試し定住施設等の運営。
- ・あば村：岡山県津山市あば村まで、2時間要。合併によって急激な人口減があり、小学校や学校、役場などもなくなり「あば村宣言」を掲げて協議会を立ち上げ。施設を集約(小さな拠点)し、その活用なども検討した結果、ガソリンスタンドや売店などが再開。いろんな拠点が連携しながらまちづくりを実現。
- ・高田市：広島県安芸。1974年から始まっている協議会を起源としガソリンスタンドなどの店舗活用、中学校の廃校などの活用、デイサービスを運営。1戸あたり1000円の出資。今後さらなる発展を目指している。

(会長)視察は日帰りを予定している。

(委員)近くの鹿野町は類似点が多い。他は過疎地などで松崎とは違う点もあるし、鹿野が行きやすいと思う。

(会長)今のところは鹿野を目指すが、タイミングなども視察するターゲットを固めて向かいたいと考えている。おそらく春ごろになると思う。

(副町長)それ以外の候補地希望があれば、改めて提示もできるのでお知らせいただきたい。

■松崎地域の特徴について

(会長)前回松崎地区の魅力、課題を提示いただくようお伝えし、事前に回収整理した。今日持ってこられた方もそれを利用して発表いただきたい。カード内容を事務局で分類し書面にまとめた。本日は自分たちで整備した内容を発表、共有したい。一人3、4分で発表いただき、重点事項をまとめていくことにする。おそらく今日は発表で終了すると思われる。まずはトップバッターとして私が発表する。

※資料③参照。その他補足内容のみ記載。

- ・町の人に助け合いの精神があると挙げたが、結構同様の意見が上がっていた。
- ・移住定住についても15名ほどいる。
- ・Aコープなくなって買い物ができない。これをセンターと読んでいたのでその復活を目指したい。
- ・もっと温泉文化を復活させたい。昔は県内で2位の賑わいだったと聞いている。
- ・夕日は本当にきれいだと思うので、これをなんとか活かしたい。

(委員)宍道湖は大きすぎるし、町が近すぎるので、東郷の景観は人々の生活に寄り添っていると思う。

(委員)松江の夕日も有名だが、松崎もアピールしたい。

(副町長)松江には湖沿いに美術館があるのもすばらしい。

(会長)なぜ県立美術館が来ないのか。

(副町長)桜コミュニティの活用とは、空き室を活用するということか。

(会長)ハードだけでなく、もっともっと活用できないかと思う。あそこの桜坂は本当にすごいし、日本一の登校坂だと思う。小学校が復活してほしいくらいだ。

(委員)私よりも色んな年代の方に意見いただければと思って聞いて周った。たみからも話を聞いた。松崎には気さくな人が多い。※補足内容のみ記載

(会長)気さくな人がたくさん居るとはどういうことか。

(委員)三八市などだと思われるが、奥さん方に気さくな人が多いと言うことだと思う。逆に男性はどうだろうか。

(委員)声をかけたり、物を頼んだりすることもしやすいのだと思う。

(委員)外来者にも話しかけるので、いいですね、とよく言われる。

(委員)話を聞いていただける方が多いと思う。懐に入りづらい町も多いが、おかげさまで助けていただいている。

(委員)気軽にこちらからも話せると思う。

(副町長)日本海新聞などにも掲載されていたが、移住者が多い理由として、適度な距離感を保って面倒見がいい、暖かだと言う声があり、役場からすればハード整備が中心になりやすいが、実際は人が人を呼んでいるということが書かれていたし、第三者的にも評価されていると思う。

(委員)他区のことはあまりわからないが、子どもをおんぶしながら仕事をしなくてはいけないときに、子どもを預かってくれたり、子育てがしやすかった。ただ、今はそんな場が減りつつあるかなと思う。

(委員)・温泉の水温が高く、引水量が多いがうまく活用されていないので、もっと地域で方法を考えたほうがいい。

- ・東郷池はとてもきれいで、仕事をしているときには見る機会がなかったが、季節によって色合いや太陽の位置も異なり非常にきれいだと思う。
- ・色んな要素が関係して若い人が移ってきていると思うが、どういうところがいいかも聞いてみてもいいのではないかなと思う。
- ・三八市について、歴史が古く地域の人が引き継いでしているが、もっと期間を延ばしたり、いろんな要素を盛り込むことができないかと思う。
- ・地産地消の考えを地域の人にしっかり持っていただきたい。もっと自分の店のものを売ろうという意識を持っていただく必要もある。まずは近くのものから始め、それから湯梨浜町に広めていくことが出来ると思う。梨や梅、池の魚などをもっと広める。泊のものをこちらに持ってきてくれているが、相互にできればいい。場所や形は色んな意見があると思うが、商品の販売や生産をし、地産地消をしっかりしたいし、松崎を中心に広めたい。
- ・道や公共の場所をキレイにする、環境整備を進めるなど(鹿野では蓮の花)してもいい。桜だけでなく、もみじやコスモスなど。個人的に花が好きなので、栽培や配布もしてもいいと個人的には思う。

(会長)A コープの話がでたが閉店後の経過についてご意見あればお聞かせいただきたい。

(委員)復活してほしいのが一番。若い人は車でいけるが、よどやだけでは生鮮食品などもないので、復活したらいいという声が多い。社協の買い物支援バスも知らない方が多いので、こちらで案内をお渡しするが、もっと徹底して周知する必要がある。

(委員)倉吉にも汽車に乗っていけるが、帰りが不便なので、青谷まで行っている。あちらには大きな店もあるし、帰りの汽車も本数が多い。車に乗られる方はいいが、松崎を通る手段が少ない。

(委員)帰りはタクシーに乗るという声も多い。

- ・私は商工会女性部に30年ほど在籍しているが、案外町内の人が町内のことを知らないと思う。前田町長時代に、今滝や不動滝、他にも色々あるが、皆知らないの、町長と一緒にバスを借りて見学した。今滝は滝床料理のテーブルを常設してしまったことで不評になっている。八部瀬の展望台もあまり知られていないし、羽衣石城もあまり活用されていない。地元の方がもっと知って、外から来た方に宣伝することが大事だ。湖畔公園にモッコウバラを8年間植えていたり、あやめ池の花など既存のものを活用して宣伝すればいいと思う。
- ・一宮めぐりされている方も多いが、以前来た方に駅にロッカーがないかと聞かれた。松崎駅を利用する人が飲食店がないと言われる。12月にドルも閉店するし、ふけた食堂もなくなったので、どうにかしたい。交流施設がなく、駅前を町の玄関としてどうにかしたいと思う。
- ・駅周辺に車の止め場がないので、あればいいなと思う。空港バスの停留所前をもっとよくする必要がある。

(委員)バス停周辺の整備は必要だ。駅前看板の街灯が切れているのでどうにかしてほしい。

(会長)県でバス停前の道路を直線に整備すると予定しているが、話が進んでいない。もっと早く整備していただきたい。

(副町長)土地の取得が上手く行かないようだ。

(会長)確かに、駐車場の整備が必要だと思う。

(委員)

- ・生活センターの跡地利用をするのであれば、基本的に地域の方の買い物場所が必要だと思うが、松崎を発信する場として利用するのであれば、観光と絡めたほうがいい。ウォーキングが出来て、松崎の街中を歩く人が増えたので、その辺も絡めていただきたい。
- ・オンリーワンのものが多く、それを活用してリゾートのような雰囲気づくりが出来れば言いと思う。
- ・契神社の相撲、新生児を連れて行く泣相撲も残っている。松崎神社のみこしのように長時間かついで町を周るのは、県内にはなかなかないと思う。

(会長)あらゆる資源をコラボさせることが出来るようにならないといけないと思う。

(委員)三八市が徐々に活性化してきていると思う。課題、目標として豊富な資源を活用したインパクトあるまちづくりをしたい。

(会長)池、温泉などを組み合わせたい。三八市についてだが、今は春も行って、松崎の市文化で午前中楽しんで午後はゆっくりする。よどや、梅やも午前中だけ開かれている。

(委員)昔の三八市に戻して欲しい。鬼嫁が前面に出ているので、昔の形に戻してしてほしいという声がある。もっと買い物の楽しみを復活させて欲しい。

(委員)おそらくイベント的なものでなくて、ということだと思う。

(委員)一部ではなく、全体が楽しめるものにしたい。

(委員)どこの市にしても寂れていってなくなりつつあるところから、鬼嫁のようなものを前面に出して復活していくのだと思う。

(会長)農具市のような形は難しいが、地域の方の出店が増えることが望ましいと考えている。

(委員)長い目で続けばいいなと思う。古いものも残して新しいものも取り入れていただきたい。

(委員)鹿野の話がでたが、松崎には池を活用することが必要だ。「池に寄り添うまちづくり」がポイントになるが、池におぼれるまちづくりになってはいけないと思う。いいところを取り入れていくことが望ましい。

(会長)移住者の中にも景観がいいという声が多い。

(委員)湖岸をキレイにしてもらってよかったと思う。

(委員)整備していただいたことで、池に沈まなくて良かったと思う。水門をしっかり整備いただきたいが、以前に比べてよくなったと思うし、あそこでお茶を飲むのが楽しいと言う人もいる。

(委員)

- ・私には高校、中学、小学生が居る。長男が小学校に居たときには、地元のことを体験する機会があったが、近年外部から人を呼んで体験をするなど町内から離れているように思う。天女伝説や龍踊りなど、小さいときから地域の良さを知っていることが地元愛を育めるものだと思う。
- ・今は小学生から携帯電話をもっていて、いろんな情報を見ることができる。東郷池も色々な表情があるので、もっとインターネットを利用して発信できればいいと思う。

(会長)最終的には情報発信が必要だ。やはり小さい頃から地元を知ってもらうことは大事だと思う。

(委員)お客さんからは、湖がきれいだという話はよくあるが、何よりも知名度がないことが問題で、他地域(道後温泉など)と勘違いされることがある。PRが圧倒的に足りない。

(会長)やはりPR戦略を考えなくてはいけない。

(委員)各団体がPRをしているが、インターネットなどを利用して、頻度を高める、取材するなどできる人が少ない。新しい情報を更新し続けることができればいいと思う。湖がキレイなのであれば、船を出したり、イベントをすることが必要だと思う。たみには、いろんな地域から来ていて、とてもいい地域だと思ってもらえている。もっとネットなどを活用した情報発信が必要だと思う。

(会長)そういうPRは役場やまちづくり会社で進めていく必要があると思う。まちづくり会社で情報発信機能を持たせることは可能か。

(事務局)必要だという話は出ている。

(会長)TCCの宣伝でも湯梨浜町が取り上げられる回数が少なく、琴浦が多い。

(委員)

- ・湯梨浜は観光協会に2名しか在籍しておらず、他地域はもっと多いので、全然違う。
- ・商品やブランド作りが不足している(ケーキ、クレープなど)。
- ・イベント多いがPRが少なく、湯梨浜町の宿泊施設を利用していただきたい。
- ・若者は昔と違って、自分の時間を大切にしている傾向があり、全然方向性が違うので、世代間の違いは大きい。ブラッシュアップをどうするかが大事だと思う。

(委員)小泉八雲さんは養生館に泊まったと聞いたが、それを宣伝に利用できると思う。

(委員)奥様も一緒に泊まられて、記述にも残っている。

(委員)

- ・私は在住していないが、色々な環境がコンパクトにまとまっていることが魅力だと思う。歩いていける範囲、駅から出てすぐの場所に色々な魅力があることが大きなセールスポイントだと思う。豊かな観光資源等があることで、人情も育まれたのではないかと思う。
- ・豊かさに安住してしまっていること、内に秘めてしまっていることで、外への発信が不足しているのかなと感じる、地域だけで購買欲を挙げるのは難しいと思うし、大手スーパーに来てもらうのも難しい。観光を軸に外貨を稼いだり、人が集るように発信することが必要だと、糸口が見えてきていると。オンリーワンになる東郷温泉、池になると思う。

(委員)私は、上浅津に住んでいるが、駅がやはり魅力で、駅を活用することが必要だと思う。上浅津からみると、東郷池がそんなにきれいなのかなと感じる。夕日といえばやはり海で、東郷池の夕日がきれいだというのは初めて知って、感動した。私が魅力だと感じるのは駅であり、松崎のレトロな町並みがきれいだと思う。課題については、駅周辺がにぎやかな雰囲気になればいいなと思う。水産物については、皆さん、それほど東郷池のものを食べているのか。私はあまり食べる機会がない。

(委員)本当は地元のもの(しじみなど)を安く食べれたらいいが、結局宍道湖の安いものを食べている。
(会長)今度、瑞風という豪華列車が松崎にも停まるが、松崎は停車だけだと聞いている。やはり駅周辺の発展が必要だと思う。

今後のスケジュールだが、資料③松崎地域の特徴の表に新たな項目は追記し皆様にお渡しする。次回は、深めていくべき内容を、分科会に分けて話し合いたい。こんな事を深めたいという内容を考えてきていただきたい。

【次回開催：2017/1/16(月) 19：00～ 湯梨浜町中央公民館】